

2019年度 自己評価結果公表シート

幼稚園型認定こども園 高槻双葉幼稚園

学校法人 高槻双葉学園 学校関係者評価委員会

評議委員

・外部評議委員 8名

・保護者 6名

2019年度 学校関係者評価委員会実施実績

*第1回学校関係者評価委員会

2019年 9月25日(水) 14時 出席 外部評議委員 7名
保護者 6名

*第2回学校関係者評価委員会

2019年 3月27日(金) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為
書面にて報告、郵送にて意見書回収

1、本園の教育目標

『たくましいからだ と 豊かな心』

1. 調和のとれた人間性を育てます
2. 心身共に健康な子どもの育成を目指します
3. 知性と情緒豊かな感動を覚える子どもに育てます

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

自己点検・自己評価を継続して取り組む中で見えてきた全員に共通する着手の難しい課題に対して、原因を探り、その課題を解決する必要性を共有し、具体的な実践計画を立てて繰り返し取り組む中で、よりよい保育を確立していく。また園内研修に重点を置き、園内の課題に全員が共通の認識を持つことができるよう努める。

3、重点評価項目の達成及び取り組み状況

課 題	具 体 的 な 取 り 組 み
「教育課程の見直しについて」	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の見直しに向けて、今年度は子どもの「姿」や「育ち」から指導計画を作成した。今年度1年間の子どもの姿と作成した指導計画を照らし合わせ、教育課程の見直しを引き続き取り組んでいく。
「研修・研究の充実について」 <ul style="list-style-type: none"> ・園内研修の実施 ・外部研修での学びを共有 ・公開保育を活用し自園の実践を振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な観点において園内研修を実施した。 ・外部での研修に参加し、報告書を作成した。 ・2019年9月11日に公開保育を実施。
「子育て支援・親育ち支援」 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てにおける様々な情報発信を行う ・未就園児への子育てにおける情報発信、また保護者同士の交流を持つことができるような場の提供 ・親育ち支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙で子育てに関する内容を配布した。 ・未就園児の園庭解放や交流時間には、子育てに関する内容の手紙を配布したり、保護者同士が話せる時間をもった。 ・にこにこクラブで保護者対象のワークショップを開催した。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

「教育課程の見直しについて」

各学年と預かり保育の毎月の振り返り会議の内容を3学年と預かり保育の代表者会議で共有し、3学年と預かり保育で見通しを持った保育計画や、各年齢の子どもの現状を共有し、月案を見直したことから指導計画を作成した。今年度1年間の子どもの姿・育ちをもとに教育課程の見直しを始めている。

「研修・研究の充実について」

1年間を通して、園内研修の年間計画を立て実施した。外部の研修については、個人が学びたい内容を基本に園の研修計画のもと参加した。

・園内研修の実施（中間報告以降）

・カウンセリング研修	3回	(年間4回)
・1、2、3年目研修	「非認知能力の育つ場面を考える」「1年の振り返り」	
・公開保育に向けての園内研修	2回	
・公開保育後の園内研修	1回	

・ECEQ®STEP4 公開保育

9月11日に行った公開保育では、自園の課題を見つけるべく、公開保育に向けて事前研修を2回行った。外部のコーディネーターの先生に入ってもらい、自園の良さ・今感じている悩みや課題を明確にした。

公開保育当日は、私たちが課題と捉えている視点に沿って公開保育の参加者の先生に意見をもらえるような公開保育となった。公開保育後の園内研修では、もう一度振り返り、学びを共有することができた。公開保育で色々な立場の先生方から頂けた意見で、今、子どもたちの育ちを願い、日々取り組んでいる毎日の保育に対し、「この方向性で間違っていないんだな」と感じることができ、自信を持つことができたことは大きな実りとなった。

・外部の研修

- ・保育環境評価スケール研修会 「すぐそばにある かがく遊び」
- ・教員研修会（高槻市私立幼稚園連盟ももの会主催）
「大人の本気が子どもを守る！ ～命を守る防災・安全講座～」
- ・新規採用教員研修会 「子どもが主体的に遊ぶ環境構成」
「学級経営の在り方 ～先輩教員の実践に学ぶ～」
- ・ミドルリーダー研修 「より良い人間関係を育むコミュニケーション～コーチングを手がかりに～」
- ・青年振興部定例研修会 「うたをうたう」

- ・年間を通して講座、研修を受講
 - *全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 ECEQ®コーディネーター受講課程を修了（岡部 祐輝）
 - *子育て相談員認定講座 …受講課程を修了し「子育て相談員」資格を取得（吉村 淑子）
 - *ファシリテーター養成講座 …受講課程を修了（楠元 かおり）
 - *幼児教育アドバイザー育成研修
 - …次年度受講課程修了し「幼児教育アドバイザー」資格取得見込み（吉岡 美香）
 - *第28次プロジェクト「5歳児保育の本当に大切なこと」（2か年研究・次年度継続）（伊藤奈央）

「子育て支援・親育ち支援について」

・子育て支援

- *にこにこクラブ（未就園児クラス） ・11月から子どもだけの参加 36名在籍
- *たねっこルームの開催（0歳1歳対象）
 - ・9月26日 よちよち・てくてくコース 16組参加
どろんこ遊び、絵本読み聞かせ
 - ・12月13日 ごろごろ・はいはいコース 5組参加
管理栄養士による離乳食、栄養相談
ふれあい遊び、手作りおもちゃ遊び
- *園庭解放の開催 9月9日、9月30日、10月7日、10月24日、11月5日、11月19日
12月12日、1月28日、2月14日

・親育ち支援

・にこにこクラブにおいて、1月と2月に、保護者に向けてのワークショップを2回実施

*体験を通して感じたことに向き合ってみましょう ～私を知る、あなたを知る～

①自己紹介 … ・名前、好きな食べ物、好きな言葉、一度は行ってみたい場所、
2020年に叶えたいこと

②ネガティブ自己紹介をする … ・自分の短所を言う→言われた相手はその短所を長所に
言い換える

その他、考え方、伝え方の体験ワークショップ

*3歳児の育ち、身辺自立について

集団生活に入る中で不安に感じていることをグループ別に話してもらい、付箋に記入して
貼りだしてもらう

→その中から3歳児の育ちや発達を踏まえて質疑応答を行う

5. 重点評価項目の取り組み結果に対しての学校関係者の評価

(※学校関係者…学園理事、評議員、クラス委員代表者)

< 重点事項全体を通して>

よいと思う点

- ・3学年と預かり保育が様々なことを共有して取り組んでもらっていることが親として安心できる。
- ・公開保育で園外の先生方からも方向性を認めてもらえた保育や環境の中で子どもが過ごせることをありがたく思う。
- ・先生方が自信を持たれたということで、自信を持つことは大人にも子どもにも良いことだと思うのでよかったと思う。
- ・先生方が子ども・保護者一人一人に色々な場面で声をかけてくれることで日々安心したり前向きになれた。忙しい中難しいとは思いますが、園の思いや方針を聞く場だけでなく保護者と先生が、できるだけかしまらない状況でお互い話をできる場があると、すれ違いを生まずにお互いに納得できるのでいいなと思う。
- ・双葉幼稚園は他の私立幼稚園に比べ、いい意味で私立独特のその園のカラーがあまりないように感じる。その雰囲気は科学的、学術的な視点に基づいた研修などを通じ、外部から継続的に新しい知識や考え方を取り入れているからなのだと思う。保護者としてとても信頼できる。
- ・色々なことに取り組んでおられて先生方の努力が素晴らしいと思う。
- ・資料を見て納得することばかり。これからも先生方で意見を出し合って保育向上に引き続きつなげて行ってほしい。
- ・共通の認識を持ち、共有された課題でより豊かな保育がなされている。
- ・今までの学校評価や今回の紙面での報告の中では、全てうなづける内容で先生方の熱心な気持ちが伝わる。今後も引き続き子どもたちと向き合う保育の振り返りをしながら、先生方同士話し合い保育向上につなげてほしい。
- ・着手の難しい課題にも正面から向き合い、解決するための努力を続けていることが素晴らしい。

こうすれば更によくなると思う点

- ・担任の先生方は若くて子育ての経験のない方が多い。自分の子どもを出産して育てるということは、どんなに知識があっても理論では説明のつかない状況や感情に直面するものであり、研修の中にそのようなことを感情的に理解できるような内容があれば先生と保護者のコミュニケーションがもっとうまくいくのではないかと思う。
- ・年に数回しかない双葉幼稚園の子どもと地域高齢者との交流を深めて、高齢者の方を笑顔にしてほしい。
- ・困難な状況の昨今、情報過多にも振り回されることなく理性的な対処にと、日々頑張っている先生方も疲弊されるのではないかと心配している。心に届く処方箋として、「救急箱」的なリストを作っておくというのがよいのではないか。(気分転換、癒されること)
- ・活字離れの今日、豊かな感性と想像力を育み、心と知的体力を養い、学力の基礎となる読書の推奨により力を入れてもらいたい。蔵書の充実を図る、家庭で眠っている本の寄贈(ふたぼうマーケット等の折)、寄付金の声掛け等も一案かと思う。また、難しいかもしれないが、年に1度でも、プロによる公演、聴く、見る、触れる機会を設けて、感動する心を与えるのもよいかと思う。
- ・核家族化している中での子育て支援、園庭開放など、地域(老人、未就園児)を取り込む行事がなされていることがよいと思うので続けてほしい。また、園庭開放時、ふれ合い遊び、家庭で遊べるおもちゃ、園で歌っている歌などのパンフレットを配布したらよいのではないか。

<教育課程の見直しについて>

- ・幼稚園教育要領に基づかれた指導理念、このままでよいと思う。
- ・子どもの姿、現状を共有し、見直して計画を立てていることがよいと思う。
- ・指導計画を、子どもたちの「今」に合わせて都度見直しているとのこと、大変な作業を続けていることがよいと思う。しかし、1年1年ではなく、もう少し長いスパンで見えていくことが必要なこともあるのではないかと感じた。

<研修・研究の充実について>

- ・先生方の研修内容に個人の希望を取り入れることはとても良いと思う。学びも深くなり、毎日の保育に直結していこうと思う。公開保育においても課題に沿って意見をいただいたとのことで、目標が明確で成果が得やすいと思った。
- ・公開保育前後の園内研修で先生方が方向性への手応え、自信等が手に取るように伺えとても良いと思う。
- ・外部の研修枠のところで資格取得は別枠にして、例えば「〇〇アドバイザー」など、現保有数(人名等)を記入し、研修者をアピールしてもいいのではないかと思う。
- ・研修、研究の充実について園内研修に力を入れられていることがよいと思う。
- ・園内研修により、自身が気付かなかった点を知り、質の高い向上と自信に結びついている。
- ・外部研修により、多角的な知識や広い視点を得られたと感じる。
- ・保育の見合いについて、保育を見られる、見せ合うことはとてもプレッシャーと思うが、助言を受けることで保育につなげていることがよい。

<子育て支援・親育ち支援について>

- ・子育て支援についての手紙が色々あって有難いし参考になる。個人的には子育ての悩みや疲れなどへの「共感」がもう少し感じられると嬉しい。親も「色々大変だがこの方向性で間違っていない」と思える時があると良いと思う。
- ・子育て、親育ち支援は、親にとって何より心強い応援と思う。積極的に続けてほしい。
- ・保護者の中には自分から話せなかったり、苦手な方もおられる中で、小グループでのワークショップは子育てにも自信になると思う。
- ・未就園クラスの保護者対象のワークショップについて、ネガティブ自己紹介は、知っている人同士の場合、やりにくく感じる方がいるのではないかと気になった。(短所を長所に言い換えるという作業が大変なことは経験を通してわかっているが、気になった。) 不安に思うことをグループで話し、貼りだすのは自分の気持ちを見つめることができよいいワークショップではないかと思った。

6、令和2年度 重点評価項目

課 題	具 体 的 な 取 り 組 み
・教育課程の見直し	・毎月の子どもの様子の振り返り会議をもとに見直した指導計画と照らし合わせ、今の子どもの発達段階に応じた教育課程になっているか見直す ・職員が教育課程を共通理解のもと、日々の保育に臨めるようにする
・研修、研究の充実	・重点研究を設定し、各自が意識を持ち、そのテーマに応じた実践を行う ・幼小連携、接続に取り組む ・園内研修の充実
・親育ち支援	・保育の可視化を意識して保護者に子どもの育ちを伝え、共通認識を持てるようにする ・子育てのに関する情報を発信する

7、財務状況 公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

幼稚園型認定こども園 高槻双葉幼稚園